

# 議員説明会資料

## 新図書館整備に向けた検討・協議について

1. 令和3年度における近鉄グループとの協議経過 . . . . . P 2
2. 新図書館等の概要検討について . . . . . P 3
3. 今後の進め方について . . . . . P 4
4. (報告) 近鉄四日市駅周辺等整備事業の状況について . . . . . P 5

令和4年1月21日  
政策推進部  
都市整備部

## 新図書館整備に向けた検討・協議について

### 1. 令和3年度における近鉄グループとの協議経過

#### (1) 中心市街地拠点施設整備基本計画策定について

新図書館を含む複合施設（以下、「新図書館等」という）の整備に向けて、令和3年度は中心市街地拠点施設整備基本計画を策定するため（当初予算額：45,000千円）、スターアイランド跡地を候補地として、土地所有者である近鉄グループとの協議を進めている。

＜中心市街地拠点施設整備基本計画 策定支援業務委託＞

委託先：株式会社日建設名古屋オフィス

契約日：令和3年7月30日

契約額：44,000千円

業者選定方法：公募型プロポーザル

#### (2) 近鉄との協議経過

現在、近鉄グループでは、スターアイランド跡地には市の中心市街地に相応しいランドマークとなるような建築物を建設するという方針のもと、様々な検討を行っている。この建築物内に新図書館等を組み入れるプランについて、市と近鉄グループがそれぞれ契約している設計業者を交えた協議を行っている。

4～9月 4回協議（社内検討状況の共有、図書館に必要なボリュームの提示）

10月～ 2週間に一回程度、定期的に協議（費用負担の考え方の検討）

11月 近鉄グループの基本計画の委託業者決定（設計業者を交えた協議）

※参考：スターアイランド跡地の現状

（コインパーキング、一部イベントスペース（暫定利用））



【写真：中央通り側から北方向を望む】

### (3) 新たな建築物についての検討（経過報告）

最近の検討状況に関しては、近鉄グループから新図書館等を組み入れる場合のプランとして示されたアイデアや費用負担の考え方について協議を行うとともに、市からも図書館に必要なボリュームについて提示するなど、具体的な議論を進めているところであり、これまでに以下のことを確認している。

#### ① 新図書館等整備のスキーム

新たな建築物については、近鉄不動産株式会社が土地を所有し、建物を建設する。

そのうち、新図書館等にかかる専有床部分を市が購入し、定期借地権により土地の権利を確保する。土地代は、市が毎月近鉄グループに支払う。

#### ② 費用負担の基本的な考え方

新たな建築物内に、新図書館等を整備するにあたっては、民間の専有部分と公共（新図書館等）の専有部分、及び共用部分が生じる。そのうち、公共の専有部分、及び共用部分を合理的な考え方で按分した分の整備費について、市が費用負担する。

特に、新図書館等の整備に向けては、通常の建物よりも床の耐荷重強化が必要となるほか、公共施設としての安全性を確保するため耐震性能を高度化する必要も考えられる。これらの新図書館等を整備するために生じるコスト増については、市が費用負担する。

※専有部分と共用部分の例

	近鉄	四日市市
専有部分	用途未定	新図書館、多世代交流施設
共用部分	(建物内部) エントランス、共用廊下、共用の縦断線（階段、エレベーター、エスカレーター）等 (建物外部) 敷地内広場、歩行者空間 等	

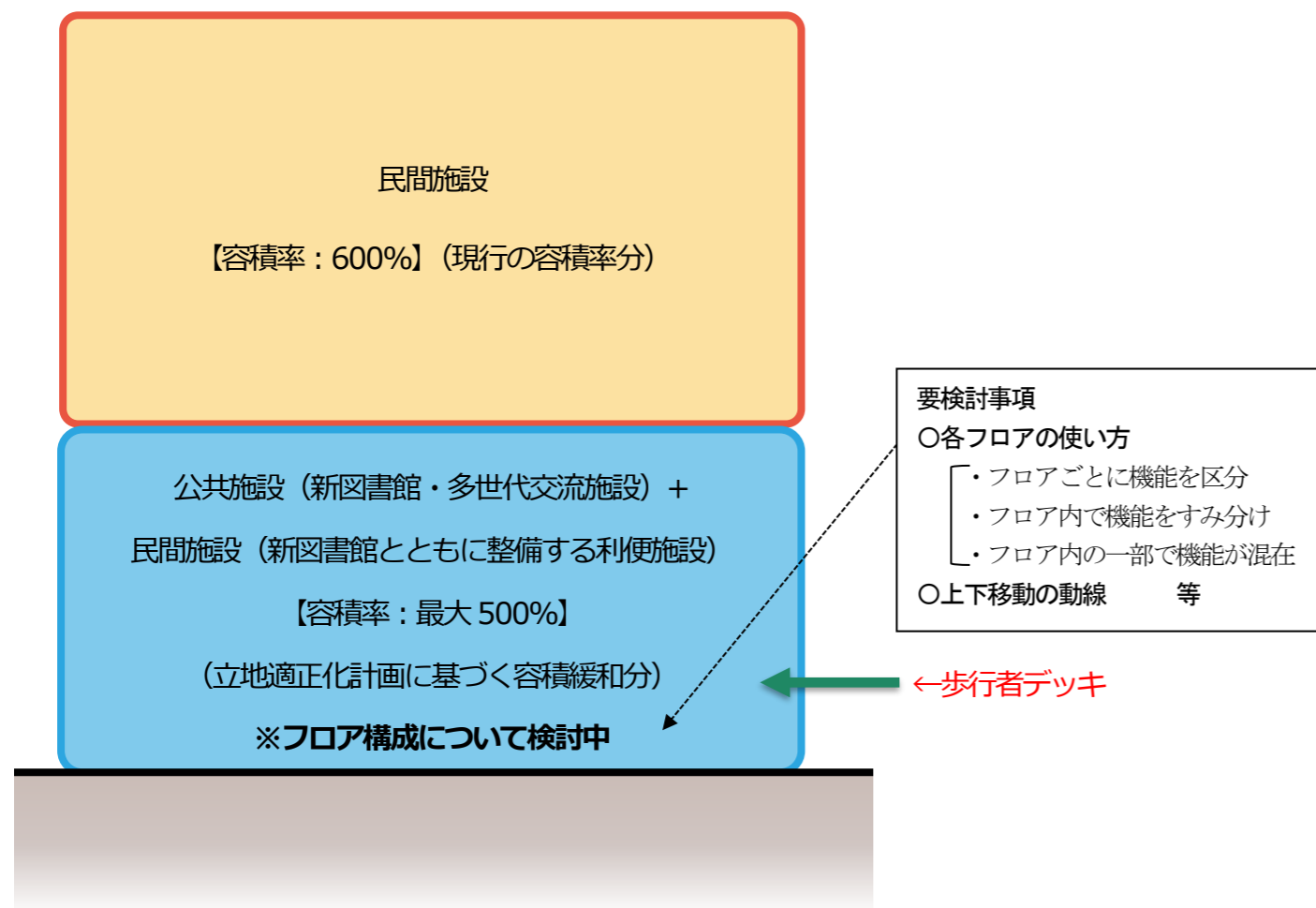
(4) 新たな建築物内における公共施設の配置（案）について

近鉄グループとの協議において、新図書館等を組み入れた場合の建築物については、以下の図のような構成イメージを共有している。

建物全体の低～中層部に公共施設（新図書館等）を整備することを想定しており、当該部分の各フロアの使い方や上下移動の動線（エレベーター、エスカレーター、階段）等について検討を進めている。

また、新たな建築物には、市が進めている近鉄四日市駅周辺整備事業により、新図書館等への接続を目的とした歩行者デッキを整備することとしている。

○新たな建築物の構成イメージ図



※なお、上記イメージ図は建築物の構成を表したものであり、建物の外観や形状を表したものではありません。

2. 新図書館等の概要検討について

(1) 新図書館等の構成について

現在、近鉄グループとの協議にあたり、市が想定している新図書館等の構成要素、及びフロア構成の検討に向けて目安としている計画面積（参考値）は以下のとおりである。

		計画面積	備考
新図書館	一般成人のエリア	1800㎡	開架冊数：13～15万冊 閲覧席数：220～250席
	子どもと子育てのエリア	2220㎡	開架冊数：8.5～9万冊 閲覧席数：130～160席
	ティーンズのエリア	1030㎡	開架冊数：3.5～4.5万冊 閲覧席数：150～160席
	資料情報のエリア	650㎡	郷土資料、 CD・DVD・ICTコーナー（20～30席）、 資料情報（50～80席）等
	講座、点字・録音のエリア	560㎡	
	ボランティアと管理エリア	1780㎡	閉架書庫（自動書庫等）を含む
	共用部	430㎡	
小計		8470㎡	
多世代交流	交流スペース	2000㎡	展示空間、ワークショップスペース等
	管理エリア	300㎡	
	共用部	250㎡	
小計		2550㎡	
共用エリア		2000㎡	
小計		2000㎡	
延床面積 合計		13020㎡	

## (2) 駐車場整備の考え方について

### ①新図書館等整備に伴う駐車場需要の想定

新図書館等整備に伴う駐車場需要について、市庁舎東側広場を整備場所と想定した「中心市街地拠点施設整備基本計画（平成30年1月）」においては、休日のピーク対応で365台、平日のピーク対応で260台と想定していた。

今回、スターアイランド跡地に新図書館等を整備するにあたり、この基本計画で想定していた立地場所とは異なり公共交通の利便性が高いことや、バスタを含む近鉄四日市駅前整備により交通結節点の隣接地となることでさらに利便性が高まること、またコロナ禍を経験した中で図書館の利用動向に変化があると想定されることなど、基本計画策定時とは異なる要素があることから、需要台数については再検討が必要である。

とは言うものの、新図書館等整備に伴う駐車場需要にあわせた駐車場確保の検討については、市で行う必要があり、また前項(4)で記載したフロア構成の検討と並行して行う必要がある。

### ②駐車場需要を踏まえた対応方針

【1】くすの木パーキングを新図書館等の駐車場として利用する（150台程度）。

※くすの木パーキングの収容台数は509台、平均駐車台数の最大は約350台であることから、利用できる台数は150台程度と仮定した。

【2】残りの台数確保については、以下の整備手法が考えられる。

#### ①建物内への整備

建物内に駐車場を整備するには、近鉄グループとの協議が必要であるものの、一般的には地下に駐車場を整備することが想定され、新図書館等整備に伴う地下駐車場整備であれば、該当整備費は全て市負担となることから、相当のコスト増となることが考えられる。

※障害者、妊産婦、ベビーカーによる乳幼児連れの利用者、要介護高齢者などの利用を考慮した、おもいやり駐車場等については建物内への整備が必須。

※利用者用駐車場とは別に、図書物流等のための車両駐車スペースについて建物内への整備が必須。

#### ②中心市街地内の既存駐車場の活用

中心市街地内の既存駐車場（時間貸し駐車場）と提携し、くすの木パーキングと同じ条件で利用できるよう検討する。（図書館利用者は、2～3時間無料とする処理を行うなど）

#### ③新たな駐車場整備

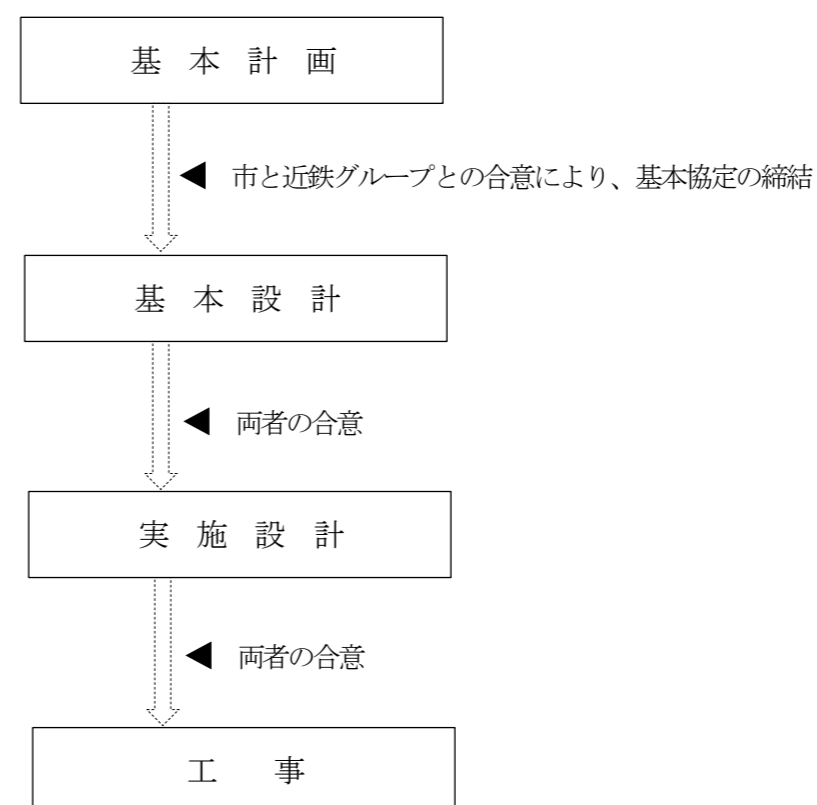
新図書館等整備に伴い、中心市街地内の駐車場収容台数の増大を図る観点から、新たな駐車場を整備することを検討する。

## 3. 今後の進め方について

令和3年度から着手している基本計画策定について、近鉄グループとの協議のスタートは遅れたものの、10月以降は定期的に協議を重ねており、11月以降は市と近鉄グループがそれぞれ契約している設計業者を交えた協議を行っている。

ただ、現在の進捗状況を鑑みると、令和3年度中に近鉄グループとの協議を整え、基本計画策定を終えることは困難であることから、今後も近鉄グループとの協議を重ねながら策定を進め、その内容について近鉄グループとの合意が得られれば、令和4年度中に基本協定を結び、基本設計の段階へと進めていく。その際は、基本設計にかかる必要経費について令和4年度補正予算として上程いたしたい。

### ○想定される今後の進め方





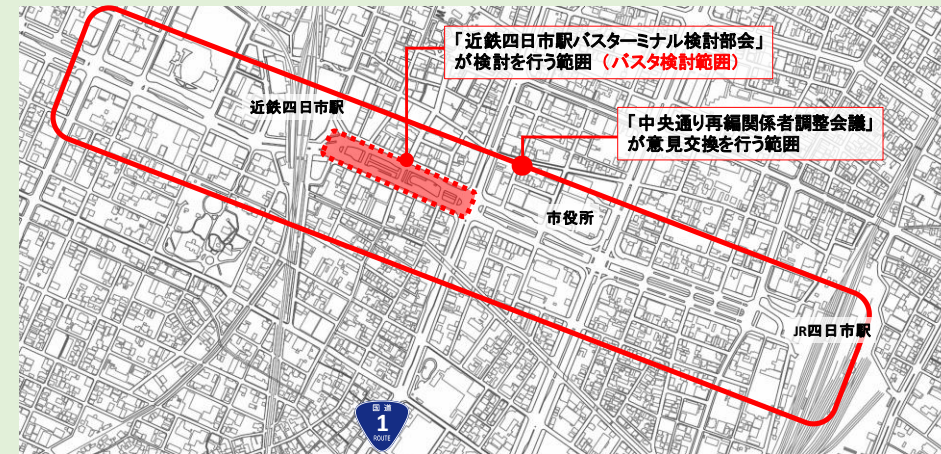
## 4. (報告) 近鉄四日市駅周辺等整備事業の状況について

### (1) これまでの経緯

#### 1) 検討体制

##### ●目的

中央通りや近鉄四日市駅及びJR四日市駅の駅前広場整備その他関連する周辺における整備・再編に向けて、四日市市が策定する「**近鉄四日市駅周辺等整備基本計画**」及び、国土交通省と四日市市が策定を進める「**近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画**」について、有識者、交通関係者、商工関係者、市民及び行政等が、さまざまな立場や観点から幅広く意見交換を行うことを目的とする。



#### 中央通り再編関係者調整会議

#### デザインワーキンググループ

##### ●目的

エリアデザイン方針、及び個別施設のデザイン（形態・色彩・素材等）の検討を目的とする。

#### 市民ワークショップ

##### ●目的

デザイン検討に、市民の方々の意見を反映することを目的とする。

#### 利活用ワークショップ

##### ●目的

関係者意見を取り入れながら、利活用戦略や利活用計画の検討を行うことを目的とする。

#### 検討事項

- ①利活用戦略（各オープンスペースの使い方を目指すアクティビティイメージ等）
- ②利活用計画の検討（利活用の区域、各オープンスペースの具体的な使い方等）
- ③利活用スキーム検討（P-PFI等の制度）
- ④利活用体制（エリアマネジメント組織のあり方、位置づけ）
- ⑤利活用ルール

#### 近鉄四日市駅バスターミナル検討部会

##### ●目的

近鉄四日市駅周辺等整備基本構想（H30.12月策定）を踏まえ、「**近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画**」の策定を行い、計画の具体化を図り、バスターミナルの施設及び運営について検討することを目的とする。

#### 四日市市都市再生協議会

##### ●目的

都市再生整備計画の作成や実施に必要な協議を行うため、市町村ごとに設置することができる法定協議会。

市や公的主体、事業実施主体となる民間事業者等で構成され、基本計画に基づく実施計画の策定・協議・実施を行う会議体として、国の支援を得ながら事業を進めるために、以下の役割を担う。

- ・「**四日市交通ターミナル戦略**」（R3.3月策定）
  - ・「四日市交通ターミナル戦略」に位置付けられた**事業の実施**
  - ・「**四日市市都市再生整備計画**」（R3.3月策定）
- に関し、必要な協議を行う。

#### 四日市スマートリージョン・コア推進協議会

##### ●目的

スマートシティ化に向けた「（仮称）四日市スマートリージョン・コア実行計画」の検討や事業の推進に向け、公民学が一体となって、相互に連携・協力し、地域の抱える様々な課題を解決するために、IoTやAIを含むICT等の先端技術を活用し、都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を実現することを目的とする。

連携

連携

連携

2) 会議等の開催状況

会議名等	内 容
第1回中央通り再編関係者調整会議 第1回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会 令和2年6月1日～3日	・中央通り再編関係者調整会議及び近鉄四日市駅バスターミナル検討部会の設置 ・今後の検討体制の枠組み決定
第2回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会 令和2年7月30日	・四日市バスタの基本目標と必要機能及び施設配置の基本方針について意見交換
【議員説明会】 令和2年8月3日	・バスタプロジェクトに係る近鉄四日市駅周辺等整備事業との調整状況について ・四日市バスタにおける施設配置の基本方針 ・近鉄四日市駅周辺等整備事業への影響
第3回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会 令和2年10月7日	・四日市バスタの整備方針が決定 ・バスタ区域・施設配置(素案)について議論し、ターミナルを2島にする案に絞り込み ・西町線の中央通りとの接続に関して、中央通り再編関係者調整会議で決定するよう 申し送り
第2回中央通り再編関係者調整会議 令和2年10月14日	・西町線の扱いについて、中央通りとの車両動線を確保する接続案で合意 ・中央通りのエリアデザインの方向性について意見交換 ・エリアごとの詳細なデザイン案を検討するデザインワーキンググループの設置を決定
【議員説明会】 令和2年11月6日	・近鉄四日市駅周辺等整備事業の進捗状況について ・第3回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会 ・第2回中央通り再編関係者調整会議
第1回デザインワーキンググループ 令和2年11月23日	・エリアデザイン案について議論 ・市民ワークショップの開催を決定
第4回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会 令和2年11月28日	・四日市バスタ整備の施設配置方針に係るアクセス動線計画について議論 ・特定車両停留施設の指定範囲が示され、道路事業と都市事業の事業区分が決定 ・交通結節点整備計画(素案)について議論 ・中央通り再編関係者調整会議に対し、以下の7点を申し送り ①近鉄四日市駅～バスターミナル東島までデッキレベルで接続する可能性について 検討 ②バス待ちスペースと歩行者動線を整理し、確保可能な滞留・施設スペースの大き さについて検討 ③バスターミナルの東西島を結ぶ立体横断施設の平面配置及び規模の検討 ④バスターミナルと浜田地区を結ぶ歩行者動線の確保 ⑤国道1号の横断について立体横断施設の設置も検討 ⑥中央通りの「緑の配置」について検討 ⑦バスターミナル内の避難場所としての活用について検討
第2回デザインワーキンググループ 令和2年12月13日	・第4回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会からの申し送り事項について議論 ・西浦通り～近鉄四日市駅のデザインについて議論
第1回市民ワークショップ 令和2年12月13日	・将来の中央通りで実現したいアクティビティや活動についてグループ討議

会議名等	内 容
第3回中央通り再編関係者調整会議 令和2年12月26日	・第4回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会から申し送りされた以下の7点につい て意見交換を行い、方向性を決定 ①バスターミナル西島内の歩行者動線は地上レベルを基本とすることで合意 ②バスターミナルには、490m2～720m2程度の施設導入が可能であり、近鉄四日 市駅バスターミナル検討部会と調整を図りながら、今後検討 ③バスターミナル東西島の横断には、歩行者デッキを基本とすることで合意 ④近鉄四日市駅東側のデッキは、円形を基本に検討を進めることで合意 ⑤国道1号の横断については、横断歩道または歩行者デッキで今後検討 ⑥バスターミナル西島の緑の配置については、新植や屋上緑化について今後検討 ⑦防災施設と賑わい施設の兼用について、施設規模と併せて今後検討 中央通り再編全体の中でバスターミナルが担う役割について整理し、今後検討 ・近鉄四日市駅周辺等整備基本計画 中間とりまとめ(案)について意見交換
第3回デザインワーキンググループ 令和3年1月11日	・中央通り全体の機能配置について議論 ・バスターミナル周辺のエリアデザインについて議論
【議員説明会】 令和3年1月20日	・近鉄四日市駅周辺等整備事業の進捗状況について ・第3回中央通り再編関係者調整会議(近鉄四日市駅周辺等整備基本計画 中間 とりまとめ(案))
第4回デザインワーキンググループ 令和3年1月24日	・中央通り全体の機能配置について議論 ・西浦通り～近鉄四日市駅のエリアデザインについて議論 ・国道1号～三滝通りのエリアデザインについて議論 ・JR 四日市駅のエリアデザインについて議論
第5回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会 令和3年1月26日	・近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画(案)の以下の内容について、議 論の上概ね合意 【将来の姿/施設配置計画/事業区分/段階的な整備の進め方/整備効果等】 ・今後の進め方について、次年度以降も検討部会を継続し、バスタの実施計画(機能 配置やデザイン、運用方法等)の検討を進める方針で合意
第5回デザインワーキンググループ 令和3年2月11日	・近鉄四日市駅周辺等整備基本計画 中間とりまとめ(更新案)について議論 ・三滝通り～JR 四日市駅のエリアデザインについて議論
第2回市民ワークショップ 令和3年2月11日 (オンライン開催)	・中央通りで実現したい“コト”(アクティビティや活動)についてグループ討議 ・設定した“コト”の実現に必要な“モノ”(施設等)についてグループ討議
国に対する要望活動 令和3年2月15日 (オンライン要望)	・国土交通省道路局に対し、バスタプロジェクトの早期事業化を要望 【面談者:道路局次長】 ・国土交通省都市局に対し、近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業に係る、令 和3年度以降の予算確保を要望 【面談者:都市局長】



会議名等	内 容
第4回中央通り再編関係者調整会議 令和3年2月28日	・第5回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会(令和3年1月26日)で合意を得た、「近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画(案)」について、調整会議として概ね合意 ・第3回中央通り再編関係者調整会議(令和2年12月26日)に示した中間とりまとめ(案)から、中央通り全線における「整備のイメージと目指す効果」を追加した更新案について、概ね合意
第1回四日市市都市再生協議会 令和3年2月28日	・四日市交通ターミナル戦略(案)の内容について合意 ・四日市市都市再生整備計画(案)の内容について合意
四日市市自治会連合会からの要望 令和3年3月5日	・市内28地区全連合自治会から三重河川国道事務所長及び市長に対し、「四日市バスターミナルの実現と近鉄四日市駅周辺等整備事業の推進に向けた要望」を受ける
近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画等の策定 令和3年3月19日	・近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画(国土交通省、三重県、四日市市) ・近鉄四日市駅周辺等整備基本計画 中間とりまとめ(四日市市)
一般国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業の 新規事業化決定【国直轄事業】 令和3年3月30日	・令和3年度国土交通省の交通結節点事業の予算に、近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業の事業費として1億円が盛り込まれ、新規事業化が決定
令和3年度国庫補助及び交付金事業の採択 令和3年3月30日	・令和3年度から新規事業メニューとして用意された都市・地域交通戦略推進事業の個別補助事業に、近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業における、駅前広場整備や中央通りの道路空間再編が採択 【内示国費641,540千円/要望国費337,500千円(内示率約190%の過充当)】 ・まちなかウォークラブル推進事業で交付金事業として採択 【内示国費13,000千円/要望国費13,000千円(内示率100%)】
第3回市民ワークショップ 令和3年4月11日	・国道1号～JR四日市駅の区間を対象に、将来の空間イメージをグループ討議 ・空間イメージの実現に向け、模型を用いたグループ討議
第6回デザインワーキンググループ 令和3年4月29日	・西浦通り～近鉄四日市駅のエリアデザインについて議論 ・市民公園のエリアデザインについて議論 ・デザインコンセプトとデザイン戦略について議論
【議員説明会】 令和3年5月21日	・近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画(将来の姿と整備効果) ※バスタの整備計画 ・近鉄四日市駅周辺等整備基本計画 中間とりまとめ(整備のイメージと目指す効果) ・事業の枠組み

会議名等	内 容
第7回デザインワーキンググループ 令和3年7月6日	・デザインコンセプトとデザイン戦略の位置づけについて議論 ・広場機能・交通機能の配置、バリアフリー動線の配置について議論 ・緑のデザイン方針及び個別施設のデザイン方針について議論 ・自転車通行空間の整備方針について議論
第8回デザインワーキンググループ 令和3年7月28日	・デザインコンセプトとエリアデザインの構成について議論 ・各エリアの空間テーマ・導入機能・景観の考え方について議論 ・自転車動線・バリアフリー動線と歩行者空間・交通機能の配置について議論 ・個別施設のレイアウトイメージについて議論
第5回中央通り再編関係者調整会議 令和3年8月12日	・各エリアにおける空間テーマと導入機能について意見交換 ・グリーンフラの配置、各種動線と歩行者空間・交通機能の配置について意見交換 ・各エリアにおける景観づくりのポイント、個別施設のレイアウトイメージのテストプランについて意見交換 ・個別施設の設えの考え方について意見交換
第1回四日市スマートリージョン・コア推進協議会 令和3年8月12日	・令和3年度中の「(仮称)四日市スマートリージョン・コア実行計画」の策定に向け、カテゴリー別ワーキンググループの組成や、人流解析等の実証実験(案)について協議 ・会員各社の取組事例を紹介
第6回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会 令和3年9月20日	・ターミナル機能と賑わい機能の方向性について議論 ・ターミナル管理運営事業者公募に向けた、サウンディング調査結果について報告 ・サウンディング調査結果を受けた運営手法について議論 ・今後、事業成立に向け、民間事業者と個別対話を行いながら、収支検討や、官民それぞれが担う事業範囲の検討、コンソーシアムなど参加形態の検討が進められることとなる
第9回デザインワーキンググループ 令和3年9月23日	・エリアごとの景観づくりの考え方について議論 ・中央通り北側の自転車通行空間の整備方針について議論 ・個別施設のレイアウトイメージについて議論 ・先行整備区間(西浦通り交差点から市民公園東交差点)のデザイン案について議論
第10回デザインワーキンググループ 令和3年10月6日	・中央通りのエリアデザイン等の更新案について議論 ・国道1号～JR四日市駅までの広場を対象にした、官民連携による管理運営を見据え、事業者ヒアリングの対象や利活用WSの進め方について議論
第6回中央通り再編関係者調整会議 令和3年10月17日	・「近鉄四日市駅周辺等整備基本計画」の骨子となる、中央通りのエリアデザイン等の更新案について意見交換 ・利活用計画検討の進め方について意見交換
【議員説明会】 令和3年11月5日	・中央通りのエリアデザイン等の更新案 ・今後の進め方(利活用計画検討の進め方)

会議名等	内 容
第 4 回市民ワークショップ (フィードバックワークショップ) 令和 3 年 10 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回・第 2 回・第 3 回市民ワークショップの結果と、その時点の計画への反映状況を報告</li> <li>・今後、担い手候補者に参画いただく利活用ワークショップにて、整備後の利活用を検討する方針を報告</li> </ul>
第 1 回利活用ワークショップ 令和 3 年 10 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 1 号から東側で生まれるオープンスペースを対象に、利活用イメージを具体化するための「望ましい活用のシーン」についてグループ討議</li> <li>・令和 4 年度に実施予定の社会実験の概要(実施時期、期間、範囲、目的等)を報告</li> </ul>
第 2 回利活用ワークショップ 令和 3 年 11 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験計画の事務局案を基にグループ討議</li> <li>・中央通りで生まれるオープンスペースにおける新たな利活用方法や、持続可能な運営・マネジメント体制等を検討するための利活用戦略についてグループ討議</li> </ul>
第 11 回デザインワーキンググループ 令和 3 年 12 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄四日市駅周辺等整備基本計画(素案)について議論</li> <li>・先行整備区間(西浦通り交差点から市民公園東交差点)で今年度発注する「西 1 期工事」のデザイン案について議論</li> <li>・第 1 回及び第 2 回利活用ワークショップの結果報告</li> </ul>
第 12 回デザインワーキンググループ 令和 3 年 12 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄四日市駅周辺等整備基本計画(素案)について、前回デザインワーキンググループからの修正点を中心に議論</li> <li>・先行整備区間(西浦通り交差点から市民公園東交差点)の樹木の移植方針について議論</li> <li>・近鉄四日市駅東西デッキのデザイン及び、エレベーター・エスカレーターの設置位置について議論</li> </ul>
第 7 回中央通り再編関係者調整会議 令和 4 年 1 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度中の「近鉄四日市駅周辺等整備基本計画(第 1 期)」のとりまとめに向けた、近鉄四日市駅周辺等整備基本計画(素案)について協議</li> <li>・先行整備区間(西浦通り交差点から市民公園東交差点)の検討状況について意見交換</li> <li>・利活用計画の検討状況について意見交換</li> </ul>



1) 近鉄四日市周辺等整備基本計画(素案)の協議

【主な内容】

ア. 基本計画の主要な変更点

- ①各オープンスペースの普段時の使われ方について、整備後の利活用のイメージを新たに追加 ⇒参考資料 P43~P44
- ②中央通りにおける防災機能について、災害種別ごとに、今回の再編で生まれる各オープンスペースで想定する被災状況と対応方針を整理 ⇒参考資料 P45~P49
- ③自転車動線の端部となるJR四日市駅、自転車アクセス需要が見込まれる市民公園や、国道1号からJR四日市駅前で生まれるオープンスペース周辺において、駐輪施設を新たに追加 ⇒参考資料 P51, P68~P73
- ④9章の「景観づくりの考え方」に、整備イメージのパーズを追加する方針とし、今回はアングル確認用の3D画像の切り出し等を添付 ⇒参考資料 P52~P66
- ⑤将来的な接続バスの走行も視野に、近鉄四日市駅からJR四日市駅間のバス停2箇所の形状を、接続バスに対応可能な形状に拡張 ⇒参考資料 P71~P72
- ⑥JR四日市駅周辺の活性化に向け、既存の駅舎周辺と改良する駅前広場の一部を対象に「今後、公的施設の立地を別途検討」することを、基本計画に新たに位置付け ⇒参考資料 P73
- ⑦上記に関連して、公的施設と一体的な検討を要するため、駅前広場における交通機能配置については今後も調整が必要 ⇒参考資料 P73

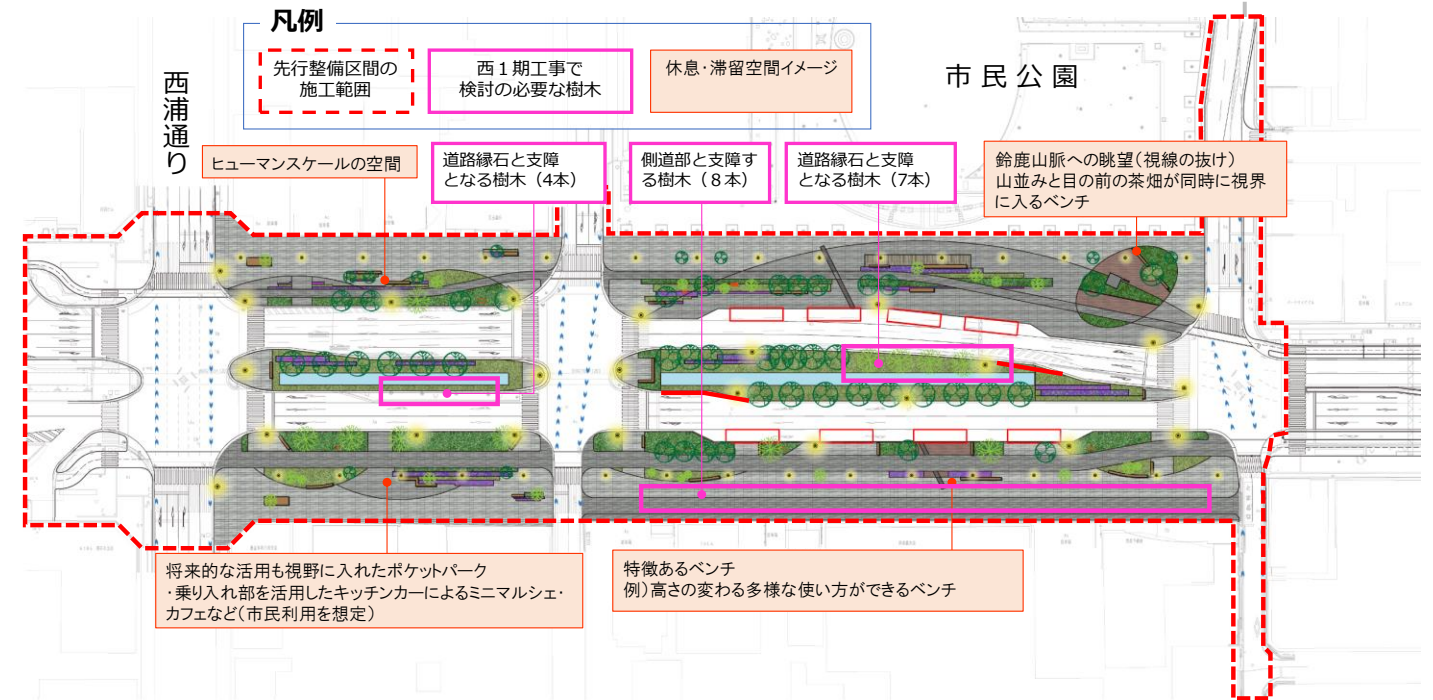
イ. 主な意見と対応方針

●第7回中央通り再編関係者調整会議で下記の意見をいただき、次回、第8回中央通り再編関係者調整会議に向けて今後検討する事項

- ①東海道や茶畑など「四日市らしさ」の見せ方を再整理
- ②国道1号から東側の賑わい創出に係る見せ方を検討
- ③バスタについては、可能な限り最新の情報を反映できるように、国土交通省三重河川国道事務所で検討
- ④市民に分かりやすいように、構成について一部見直し
- ⑤対象範囲が近鉄四日市駅周辺だけではなくJR四日市駅から港を結ぶ範囲までを含んだ広範囲の計画となってきたため、計画名称を再検討
- ⑥基本計画は、検討の進捗に合わせて計画内容を更新していけるように位置づけを検討し、これに合わせて、中央通り再編関係者調整会議についても再編等を検討
- ⑦上記の内容を踏まえた修正案を第8回中央通り再編関係者調整会議に提出し、第1期の基本計画の策定を行う

2) 先行整備区間(西浦通り交差点から市民公園東交差点)の検討状況の報告

- ①今年度末契約予定の「西1期工事」で、車道を6車線から4車線へ変更 ⇒参考資料 P8~P11
- ②次年度発注予定の「西2期工事」で、歩道部等の工事施工により先行整備区間を完成 ⇒参考資料 P12~P13
- ③樹木医による診断を踏まえ、極力、現道の樹木を維持する方向で施工する



3) 利活用計画の検討状況の報告

- ①中央通りで生まれるオープンスペースにおける新たな利活用方法や、持続可能な運営・マネジメント体制等を検討するため、オープンスペース活用の担い手候補者などからなる利活用ワークショップを設置して検討を進めている ⇒参考資料 P15~P21
- ②令和4年の秋頃には、利活用計画検討の一環として、3週間程度実際に道路空間を利用した社会実験を予定しており、現在その実験のプランニングに向けた検討を進めている ⇒参考資料 P22~P23